

# ***UNItex Print Tool***

**UPFTOOL VER.2 SETUP MANUAL**

***UNItex JAPAN Co.,Ltd.***

# 目 次

1 . セットアップ実行 .....	1
2 . コマンドパスの設定 .....	5

## UPFTOOLセットアップ

1. セットアップ実行 パッケージのインストールとプリント・サービスにプリンタの登録が終了したら、UPFTOOL のセットアップ・スクリプトを実行します。このセットアップ・スクリプトは、登録したプリンタ情報を UPFTOOL に認識させるプリンタ情報ファイルを作成します。  
プリント・サービスにプリンタを登録したら、必ず UPFTOOL セットアップ・スクリプトを実行してプリンタ情報を登録してください。

```
% su
# インストール・ディレクトリ/UPF/bin/upftool.setup
```

- インストール・ディレクトリ入力 セットアップ・スクリプトを実行すると、最初にインストールしたディレクトリの入力を行いません。デフォルトのディレクトリであれば、リターンキーを押してください。

```
Input install directory (default:/opt/UPF):
[quit:q]?
Check install directory ...done
```

- プリンタ情報登録 登録コマンドを選択します。リターンキーを押した場合、デフォルトの登録コマンドが選択されます。

```
Select handle command:
    1. entry printer information (default)
    2. delete printer information

    0. quit

? 1
```

**プリンタ名入力** 登録コマンドを選択すると、現在のプリント・サービスに登録されているプリンタ名のリストが表示されます。プリント・サービスにプリンタが登録されていない場合、セットアップ・スクリプトは強制終了します。

イメージフィルターを使用するプリンタ名を入力します。パッケージによっては、インストール時にプリント・サービスにプリンタが登録されていますので、インストール・ディレクトリ/doc/Readme.xxx を参照してイメージ出力のプリンタ名を入力してください。

プリンタ名を入力すると、プリント・サービスに登録した情報が表示されます。

・システムの OS が System V である場合

```
Input printer name for image filter:

    emjci  emjct  mj5100c

[quit:q]? emjci

lpstat -v emjci
device for emjci: /dev/term/a
```

・システムの OS が BSD である場合

```
Input printer name for image filter:

    emjc  mj5100c

[quit:q]? mj5100c

mj5100c:lp=:rm=news:rp=mj5100c:sd=/var/spool/mj5100c:lf=/usr/
adm/mj5100c-errs:mx#0:
```

**フィルター・タイプ入力** プリンタ名の入力が終了すると、（インストールしたフィルター・パッケージの種類数だけの）フィルター・タイプのリストが表示されます。

使用するイメージフィルターのフィルター・タイプをリストの中から選んで入力します。

入力するフィルター・タイプは、インストールしたフィルター・パッケージ名から判断してください。例えば、フィルター・パッケージ名が UPF-EMJC であれば、emjc を入力します。

```
Input filter type of image filter:

    cbjc
    emjc

[quit:q]? emjc
```

コメント入力 フィルター・タイプの入力が終了したら、登録するプリンタ情報に関するコメントを入力します。リターンキーを押すと、コメントの入力が終了します。

```
Input comment (end of input is return key):
EPSON ESPER-MACH MJ-5100C
```

登録の確認 全ての入力が終了すると、入力した内容が表示されます。そして、プリンタ情報ファイルを更新するかどうか確認メッセージが表示されます。

入力が誤りがなければリターンキーを押し、誤りがあれば "q" を入力します。登録が終了すると、登録成功のメッセージが表示され、コマンド選択要求のメニューに戻ります。複数のプリンタがある場合、同様にプリンタ情報を登録してください。

プリンタ情報は、以下の順番で表示されます。

- ・プリント・サービスのプリンタ名
- ・フィルター・タイプ
- ・プリンタ接続方法
  - local : プリンタは、ローカルホストに接続している。
  - remote : プリンタは、リモートホストに接続している。
- ・出力先
  - local : デバイス名
  - remote : リモートホスト名とリモートプリンタ名
- ・コメント

#### ・ローカルホストにプリンタに接続した場合

```
***** Printer information contents *****
Printer Name      : emjci
Filter Type      : emjc
Printer Connection : local
Destination      : /dev/term/a
Comment         : EPSON ESPER-MACH MJ-5100C

The printer information file is updated.

O.K. [return key/quit:q]?

Entry command is successful.
```

#### ・リモートホスト (news) のプリンタ (mj5100c) に接続した場合

```
***** Printer information contents *****
Printer Name      : mj5100c
Filter Type      : emjc
Printer Connection : remote
Destination      : news:mj5100c
Comment         : EPSON ESPER-MACH MJ-5100C

The printer information file is updated.

O.K. [return key/quit:q]?

Entry command is successful.
```

**プリンタ情報削除** プリント・サービスに登録したプリンタを削除したときにプリンタ情報ファイルを変更する必要があります。削除コマンドは、プリンタ情報ファイルから1つのエントリを削除します。

```
Select handle command:

    1. entry printer information (default)
    2. delete printer information

    0. quit

? 2
```

**エントリ削除** 削除コマンドを選択すると、プリンタ情報ファイルのエントリのリストが表示されます。リストのタイトルは、プリンタ情報ファイル名と全エントリ数が表示されます。リストは10エントリまで表示され、それ以上のエントリがある場合、制御文字を入力してリストの表示を制御します。

制御文字は、以下の処理を行ないます。

```
"p" : 前ブロックのリストを表示します。
"n" : 次ブロックのリストを表示します。
"q" : 削除コマンド処理を終了します。
```

削除するエントリが見つかったら、リストの左側に表示されている番号を入力します。そして、プリンタ情報ファイルからエントリを削除するかどうか確認メッセージが表示されます。

リターンキーを押すと、削除成功のメッセージを表示し、コマンド選択要求メニューに戻ります。

```
*** /opt/UPF/lib/image.pif (2 entries) ***
[1]: emjci emjc local /dev/term/a EPSON ESPER-MACH MJ-5100C
[2]: mj3000cu emjc remote news:mj3000cu EPSON MJ-3000CU

Input delete number [prev:p/next:n/quit:q]? 2

The entry delete from the printer information file.

O.K. [return key/quit:q]?

Delete command is successful.
```

**セットアップ終了** 全ての処理が終了したら、セットアップ・スクリプトを終了します。

```
Select handle command:

    1. entry printer information (default)
    2. delete printer information

    0. quit

? 0

upftool.setup script is finished.
```

2. コマンドパスの設定 初期環境ファイルにコマンドパスの設定を追加してください。環境変数 UPFDIR には、インストールしたパッケージのディレクトリを設定します。

・C シェルを使用している場合

ホームディレクトリの `.cshrc` に次の行を追加してください。

```
setenv UPFDIR インストール・ディレクトリ/UPF
set path = ($UPFDIR/bin $path)
```

・B シェルを使用している場合

ホームディレクトリの `.profile` に次の行を追加してください。

```
UPFDIR=インストール・ディレクトリ/UPF
export UPFDIR
PATH=$UPFDIR/bin:$PATH
```

上記の設定を追加したら、再度ログインしてください。

